

● 黒野城と

加藤貞泰公研究会



会報

甦る! 黒野城

2017.01 vol. 4

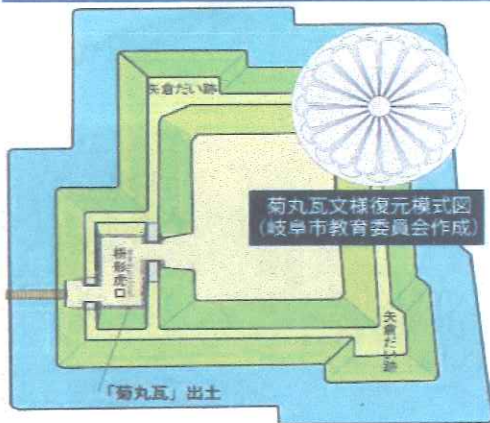
暖冬とはいえ厳冬の睦月。黒野城・本丸跡の雪景色は、水を湛え新緑たっぷりの黒野城とはまた違った風情があります。当研究会の地道な活動により、地元ケーブルテレビ取材はじめ全国城郭研究の第一人者らの来訪・見学も。様々な方面からの問合せが寄せられるようになりました。

本号も前号に引き続き、黒野城にまつわるお話や、当研究会の活動状況などをお伝えします。



ぎふメディアコスモス・秋のまつりに初出展 紙芝居「黒野のお殿さま」を上演

黒野城跡から菊丸瓦出土！



黒野城本丸推定図（研究会作成）
菊丸瓦出土位置

地方で珍しい「菊丸瓦」



安土桃山時代の武将、加藤貞泰が一九四四年に築いた黒野城（岐阜市黒野）の跡地を発掘調査している市教委は二十七日、本丸の入り口から菊の文様が入った「菊丸瓦」が出土したと発表し、門の扉頭に施されていた装飾用の瓦とみられる。この時代の菊丸瓦が、地方の城から見つかるのは珍しいという。

（北村裕）

岐阜・黒野城跡から出土

あすの現地説明会で披露

と、菊丸瓦は同時期では、大阪城や伏見城など豊臣秀吉の居城から発掘されている。中井教授は二六〇〇年以前に菊丸瓦が地方の城で使われていたことを示す数少ない事例を挙げた。ただ、考えられる貴重な史料という。

加藤貞泰の父光泰は秀吉に家臣として仕え、貞泰は一九四四年、豊臣姓を受けている。ところが、秀吉と貞泰の関係性を裏付ける史料にもなり得るという。

二十九日午前十時から現地説明会あり、菊丸瓦も披露される。

（市教委社会教育課）058-2333000
（214）2333000

2016. 10. 28 中日新聞より

岐阜市教育委員会による平成28年度（第4次）黒野城跡・本丸の発掘調査で、菊丸瓦が出土しました！
豊臣秀吉関連の城郭に用いられ、地方で使用された例は少ないとされる菊丸瓦が黒野城で出土したことは、菊丸瓦を用いた立派な城門（大手門）を持つ黒野城が豊臣政権で重要な城郭と位置づけされていたと、中井均・滋賀県立大学教授が示唆されました。

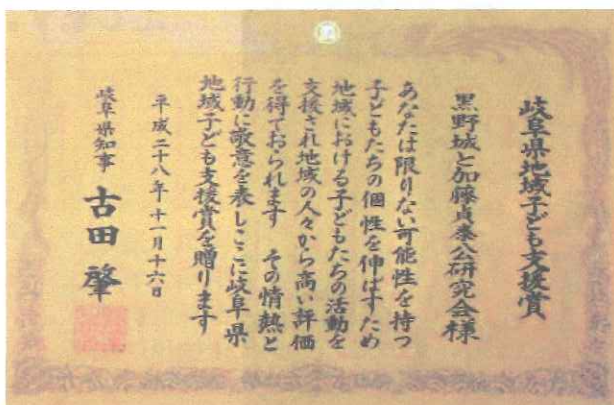
黒野城三の丸 掘め手土塁跡を整備・案内看板設置



外堀遺構で最大規模の黒野城三の丸の掘め手土塁跡は、地権者の許可を得て今までに竹林の伐採及び整地作業を22回に亘って実施し、400年前の姿が甦りました。本土塁は黒野城郭の北東端に位置し、非常に貴重な遺構であります。昨年10月に地域の各会社・団体様の寄付金にて案内看板を製作・設置することができました。

案内看板設置状況（幅1.60m 高さ0.95m）

子供達の活動支援で県支援賞



2016. 11. 16 県図書館に於いて受賞

平成25年5月から黒野小学校の児童を対象に「ふるさと子ども検定」を行ない、歴史学習を支援してきた活動が評価・推薦されて団体の部で受賞しました。

愛媛県大洲市・曹溪院一行来訪



2016. 11. 16 黒野城本丸跡にて

愛媛県大洲市の曹溪院一行30名が観光バスで黒野城跡に来訪されました。曹溪院は臨済宗妙心寺派、加藤貞泰が父光泰のために創建した加藤家菩提寺。岐阜と大洲は400年の歴史の中で繋がるゆかりの地。短い時間ながらも交流を深め、皆さま喜んでお帰りになりました。

ぎふメディアコスモスで初の紙芝居上演

当研究会が日頃印刷でお世話になっている岐阜市市民活動交流センターからメディアコスモスまつりへの出展募集がありました。黒野地域の歴史文化や活動を知って頂くため、紙芝居「黒野のお殿さま」を初めて上演しました。語り役に初登場の部会長・河合正幸、神山順子の二人で発表。後方には盛り上げ役の武将隊6名の面々。発表は午前及び午後2回実施。それぞれ約50～60人の見学者があり、普及活動に繋がりました。

2016.09.22 メディアコスモスにて



関ヶ原古戦場に加藤貞泰看板設置



①加藤貞泰看板
②竹中重門看板
③当研究会有志一同
2016.10.12

●加藤貞泰
加藤光泰の嫡男で美濃黒野城主の貞泰は、義兄の竹中重門と共に東軍に属した。本戦では黒田・竹中隊らと岡山烽火場に布陣し東軍の勝利に貢献。

関ヶ原町は、昨年10月に関ヶ原合戦の史跡をめぐる道沿いの電柱100本に4種類の看板を取付けました。岡山烽火場（ほうかじょう）のふもとの1本は「加藤貞泰」の看板です。当研究会は協賛スポンサーとして本看板を設置し、設置状況を見学に現地を有志にて訪問しました。加藤貞泰の名と研究会の表示に一同感激するとともに、竹中重門看板にも義弟加藤貞泰の名があり感激しました。

研究会の活動報告 (2016.07 ~ 2016.12)

主な定番事業

1. 研究活動・・・研究会・古文書調査・外部団体との交流会
2. 地域の市民対象活動・・・ふるさと黒野検定子ども版・紙芝居上演（メディアコスモスまつり他2件）・黒野会館まつり出展・校区文化祭出展、三の丸・搦め手土塁跡の整備と案内看板設置、黒野小フィールドワーク、史跡案内・美化活動
3. その他・・・武将隊披露、ホームページ・フェイスブックの更新、マップ・リーフレット等の発行、寄付金活動等

新しく始めた事業

1. 地域の市民対象活動・・・鎧・兜手作り教室開催



鎧・兜手作り教室
(上・右共に)



黒野小フィールドワーク



歴史講座開催



長良川おんぱく2016
梨の食べ比べ&
鶺鴒山ふもと巡り



全国城郭研究セミナーの
先生が黒野城下町見学



岐阜長良川ロータリー
クラブ講演会



校区文化祭



高橋方紀氏案内
岐阜城信長館跡見学会

最近の主な活動行事

分類	年月	H28 (2016)						備考		
		7	8	9	10	11	12			
研究活動	定例 研究会	○		○		○		2ヶ月毎・事業報告・研究発表 黒野会館		
	調査研究	調査・研究活動(黒野城関係など歴史全般)	○		○		○		個人・グループの調査研究成果を研究会で発表	
		郷土古文書調査(郷家・目録作成)	○	○	○	○	○	○	会場 黒野会館	
		関ヶ原古戦場 電柱看板設置見学会				○			電柱看板など 9名	
		信長館跡発掘調査見学会					○		教育委員会高橋氏案内・11名参加	
地域おこし・まちづくり活動	黒野小	社会教育・フィールドワーク(黒野城跡他) 委託			○			8年生80名対象・城下町を2グループに分かれ案内		
		ふるさと黒野検定子ども版 4・5・6年生対象に実施	○	○	○	○	○	○	11/16 3年間活動実績で「県地域子ども支援賞」受賞	
	講演	歴史講座「関ヶ原 命運を分けた武将の選択」		○					8/5 黒野会館公民館講座 39名	
		岐阜長良川ロータリークラブ「蘇る黒野城」 委託		○					8/7岐阜グランドホテル30名	
		紙芝居上演 メディコスまつり参加			○				9/22 みんなの森メディアコスモス(2回上演・約110名)	
		紙芝居上演 ユーモア会、末広町老人会 委託					○	○	各々「小川市」、「お堀から出てきた観音さま」上演	
	史跡案内	中世城郭研究会セミナー参加者来訪		○					8/7に3名、8/9に2名の先生案内	
		長良川おんぱく2016 梨の食べ比べ&輪廻山ふもと巡り			○				9/25岐阜大生と共同開催 参加者15名/定員15名	
		東濃5市 人権学習研修会一行案内 委託					○		黒野会館より要請 20名来訪・計23名案内	
		大洲市曹溪院一行					○		大洲市曹溪院檀家一行28名と交流会	
	展示	会館まつり ふるさとの史跡紹介				○			会場 黒野会館(2日間)	
		校区文化祭 ふるさとの史跡紹介・関ヶ原合戦					○		会場 黒野小(2日間)	
	環境	綱め手側土塁跡 竹藪伐採作業	○	○	○	○	○	○	作業回数は昨年8月～今年11月まで累計22回	
		事業案内板	綱め手側土塁跡 企画・製作・設置				○			私有地の許可を得て大型案内板設置
			関ヶ原町電柱看板設置(加藤貞泰)				○			関ヶ原町役場提案のスポンサーに応募
	美化活動	清掃活動(黒野城跡、地域)						○	美化目的に不要表示物撤去・清掃	
	普及	鐘・兜手作り教室開催 新規	○	○	○	○	○	○	黒野会館・応募4名・講師中山浩子氏、中村奈津子氏	
	広報活動	武将隊活動(イベント出場)			○	○			9/22メディコスまつり、黒野小社会教育	
		会報「蘇る黒野城」編集・発行	○					○	7月第3発行(A3両面・4頁)、12月第4号原稿作成	
		ホームページの編集・維持管理(フェイスブック)	○	○	○	○	○	○	活動報告・行事案内・研究発行資料公開	
黒野城パンフリープレットの継続配布								黒野城跡・黒野会館など		
他	活動資金の確保(寄附金活動)	○	○					会社、団体など21社様から寄附金を賜りました		

平成28年度 ご寄付いただいた会社・団体(敬称略・順不同)

新日本ガス株式会社	西本整形外科リハビリクリニック	福富医院	貴久家	黒野病院	平野総合病院
株式会社杉山興業	友・とぴあ	みながわクリニック	立山クリニック	久世工業株式会社	
丸幸製菓株式会社	日本いぶし瓦株式会社	ヨツハシ株式会社	手打ちめん処 堀川	西村歯科医院	
国島建設株式会社	玉木和廣	戸川新聞店	黒野金融懇話会(5社)	ブレッドテーブル	

～ 編集後記 ～

本誌・創刊号からあつという間に第4号を発行することになり、本当に年月の過ぎるのは早いです。概ね、年2回発行を目指して記事を作成していますが、会報発行以来、多くの方々が黒野城や黒野地区に関心を持たれるようになりました。これからも、地域の皆さんはじめマニアの方々など黒野内外の人々に黒野城や黒野地区の魅力をお伝えしていけるよう、記事を充実していきたいと思っています。

会報『甦る！黒野城』Vol. 4

発行者：黒野城と加藤貞泰公研究会
 発行年月：平成29年1月(2017)
 編集者：篠田哲郎・河口耕三・戸川文男
 問合せ・連絡先：ホームページ facebook.com/kuronojyo TEL 090-1786-6564 河口耕三